

第5回 神戸市立定時制高校のあり方検討委員会 議事要旨

1. 日 時：令和2年3月11日（水）13：30～14：50

2. 場 所：神戸市総合教育センター701号会議室

3. 出席委員：7名

4. 内 容

(1) 報告書案について

① 原案について意見交換

② 原案に若干の修正を加えたものを最終報告書とすることを決定した。

<質疑・意見等>

- ・グラフの目盛りの大きさ、西暦と和暦の統一、比較するグラフにおいて開始年度をそろえる、など見やすくする必要があるのでないか。
- ・昼間部の拡充と三修制の導入のために施設整備をすべき、ということを提言していく中で、議論に加わってきた委員には前後のつながりがわかるが、初めて読む者にも前後のつながりがわかるようなまとめ方の工夫が必要ではないか。
- ・生徒が希望しているから昼間部拡充や三修制導入を行う、というのではなく、定時制高校の役割が登校しづらい経験をした生徒の学びの場や居場所になっている、そのような生徒たちに対応した教育を充実させることが必要、社会政策としてやっていく必要がある、ということがしっかり伝わるのが大事ではないか。
- ・夜間部と四修制の重要性と昼間部拡充と四修制の重要性の記載順を入れ替えたほうがいいのではないか。
- ・「支援がほしい」ではなく「支援が必要」という観点での表現が必要ではないか。日中に時間帯に学びの場を設定する必要がある、3年間で卒業できる仕組みを準備する必要がある、といった表現にしたほうがいいのではないか。
- ・夜間部や四修制について強調されるのはいいことだと思う。この部分をなおざりにしてはいけない。ただ、記載順は入れ替えてもいいのではないか。
- ・模式図について、色合いの変更を検討いただきたい。
- ・定時制について様々な角度から見てきたが、今回の提言によって、今後定時制の形が変わっていく、今後どうなっていくのかというところが注目されると思う。非常に重要な場面だと思う。
- ・人づくり、人間作りというところで定時制高校の役割が今後ますます重要になってくると思う。